

ばんどう

政策特集 2022

坂東インター工業団地(17画地・完売)から 新規工業団地(山地区)方面を望む



ごあいさつ

坂東市では、「みんなでつくる やすらぎと生きがい 賑わいのある都市 坂東」の実現に向け、子ども・高齢者・障がい者・仕事・暮らし・新型コロナウイルス感染症対策など、市民の皆様の実生活に直接結びつく施策に全力で取り組んでおります。

昨年度は「コロナウイルス感染症に打ち勝つ」「新たな産業基盤の構築」「将来を担う人材への投資」などをテーマに掲げ、新型コロナウイルス感染症拡大防止を最優先にしつつ、日常生活と経済活動のバランスを考慮し、計画性・実効性を重視した市政運営に努めてまいりました。市民の皆様には深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

坂東市では現在、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)坂東インターチェンジの利便性を活かした工業団地の整備を推進し、雇用の創出、安定財源の確保に取り組んでおります。また、地域の魅力発信や賑わいづくりに着目した(仮称)坂東パーキングエリアや地域便利施設、移住定住の促進などの各種施策を進めることにより、坂東市の未来の世代が住み慣れたまちで安心して暮らせるよう鋭意努力してまいります。

今回発行する「ばんどう政策特集 2022」は、これまで蒔いてきた種が少しずつ芽を出し、効果が表れた政策にスポットを当ててご紹介いたします。より多くの皆様に市の施策に興味を持っていただくとともに、掲載いたしました各施策につきましてもご理解のうえご活用いただきたいと考えております。

皆様からのご意見やご感想をいただき、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向け、誠心誠意努めてまいります。

坂東市の未来をつなぐ

誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを進めています



こども政策



安心して子どもを産み育てられるよう、成長に応じた子育て情報や子育て世代が集まれる場の提供、相談体制、医療費の助成など、さまざまな支援に取り組んでいます。

また、将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、保育環境や教育環境の充実を図っています。

新生児応援給付金の支給 ◆新規

●赤ちゃんの誕生を祝福し、次代を担う子どもたちの健やかな成長を願い、より多くの方への子育て応援になるよう、従来の第3子以降を対象とした「さわやか子育て出産奨励金支給事業」を見直し、第1子目からすべての新生児に5万円を支給しています。

新生児応援給付金インタビュー



杉原さん親子

給付を受けました。おむつ代などいろいろとお金がかかるので助かります。5万円は結構大きいなと思います。子どものスキンケア用品やかぶれにくいおむつに使いたいです。

放課後児童クラブの充実

●保護者が安心して働けるよう、放課後児童クラブの受け入れ体制を充実するため、令和3年度に「中川館」を開設しました。今年度は七郷小学校地区で整備を進めています。

●経済的な支援として、ひとり親非課税世帯の保護者負担金を申請により半額にしています。

放課後児童クラブ「中川館」インタビュー



奥田さん親子

以前は少し離れたところまで行っていましたが、ここは大きな道路を渡らず近くなって安心です。ここにいると、年上のお姉さんお兄さんや年下の子とも遊べるし、先生も見してくれるので、安心できます。

部屋が広くなって良かったです。宿題もやりやすくなりました！

こんな事業にも取り組んでいます！

- すこやか医療費助成事業（18歳以下）
- 病後児保育・体調不良児保育
- ICT（情報通信技術）を活用した学びの充実

- 給食費の多子世帯保護者負担軽減
- 美味しい給食に向けた取り組み
- 学校施設長寿命化計画に沿った取り組み

坂東清風高校資格等取得支援 ◆新規

（受験料等半額補助）



仕事政策



活力あふれるまちを目指し、住み慣れたまちで働き続けられるよう、農業の振興や担い手の育成、企業の誘致など雇用の場の創出、観光集客の拡大など、誰もが活躍できる仕事づくりに取り組んでいます。特に、女性の就業の場の確保に努め、人口減少対策などを推進しています。

また、仕事を生む発展基盤として全国との連携を強化するため、さまざまな交通手段のアクセス向上に取り組んでいます。

工業団地の整備と企業誘致の推進

●圏央道沿線を中心とする工業用地需要の高まりと市の積極的な企業誘致により、平成28年に開始した坂東インター工業団地の分譲は、好評につきすべての画地（17画地）が売売となりました。



坂東インター工業団地

●更なる企業の立地需要に応えるため、地元のみなさんのご理解とご協力をいただきながら、新たに県施行による山地区工業団地の整備を推進しています。今後も、安定した雇用と財源の確保に努めていきます。

圏央道を活かした土地利用

●現在、圏央道の4車線化の整備と併せて（仮称）坂東パークエリアの整備も進められています。

●地域の魅力発信と賑わいづくりのため、パークエリアと連結した地域利便施設（情報発信・防災・休憩機能などを兼ね備えた施設）の整備を進めていきます。



坂東インターチェンジ

下総利根大橋の料金所管理事務所跡地の活用

西の玄関口である下総利根大橋の無料開放により、利用目的のなくなった料金所管理事務所の跡地を、地域の要望を取り入れながら、賑わい施設として整備していきます。

こんな事業にも取り組んでいます！

- 神大実地区地区計画区域の工業的土地利用の促進
- 坂東インターチェンジアクセス・関連道路の整備
- 芽吹大橋4車線化に向けた関係機関への要望活動
- 東京直結鉄道（地下鉄8号線）の誘致促進

- 農業の担い手確保と営農支援
- 地元産品のトップセールス
- 歴史的遺産や史跡など観光資源の活用



高齢者・障がい者政策



誰もが、住み慣れた地域で生きがいをもち、生涯安心して暮らせるよう、さまざまな生活支援の充実を図っています。特に、医療や買い物など日常生活を送るうえで必要な移動手段の支援については、地域に根差した市独自の施策に取り組んでいます。

公共交通利用券で外出支援

●高齢者や障がい者、運転免許証の自主返納者で対象となる方に、申請により市内公共交通機関の利用券を1万5千円分交付しています。また、対象となる方が新型コロナウイルスワクチン接種を受ける際の移動を支援するため、ワクチン接種専用の利用券を交付しています。

対象となる方

- ひとり暮らし高齢者
- 交通手段を持たない75歳以上の方のみ世帯
- 障がい者※
- 運転免許証を返納した65歳以上の方

※身体障害者手帳1級・2級・1種3級、療育手帳㊸・A、精神障害者保健福祉手帳1級・2級をお持ちの方

対象となる公共交通機関

- ①タクシー
- ②デマンドタクシー
- ③コミュニティバス坂東号
- ④巡回バス（昭和観光）

公共交通利用券インタビュー

●利用券がもらえてありがたいです。市内の病院はタクシーを使っていますが、西南医療センター病院へはデマンドタクシーを使うと安く行けます。（80代）

●市内の病院と買い物にデマンドタクシーを週1回使っています。ワクチン接種専用の利用券は4回目接種で使いました。とても助かっています。（80代）

●きぬ医師会病院までデマンドタクシーで行っています。暑い日でも寒い日でも車内は快適です。（50代）

こんな事業にも取り組んでいます！

- 地域包括支援センター運営事業
- 認知症初期集中支援推進事業
- 生活支援体制整備事業

- 高齢者福祉事業
- 愛の定期便事業（乳酸飲料配達による安否確認）
- 緊急通報システム事業

- 企業等との見守り協定の締結
- 子ども発達センター運営事業
- 障がい者福祉推進事業



暮らし政策



豊かな自然環境の中で快適で安全・安心に暮らすため、生活基盤の整備や防災機能の充実を図っています。また、市民のみなさんに寄り添ったサービスが持続的に提供できるよう、窓口サービスの充実や市の体制強化に向けた施策に取り組んでいます。

地籍調査事業の推進

●土地の有効活用や円滑な道路整備の推進、迅速な災害復旧などにつなげるため、地籍調査事業の推進体制を強化し、令和30年度の完了を目指して取り組んでいます。



地籍調査立ち合い風景

地籍調査事業インタビュー



矢作地区協力員 富山さん

市で地籍調査をやってもらえれば、境界も明確になって安心です。自分の土地がはっきりわからない方も出てくるかもしれません。個人でやるとなるとかなり大変なので、その負担がないのも利点だと思います。

こんな事業にも取り組んでいます！

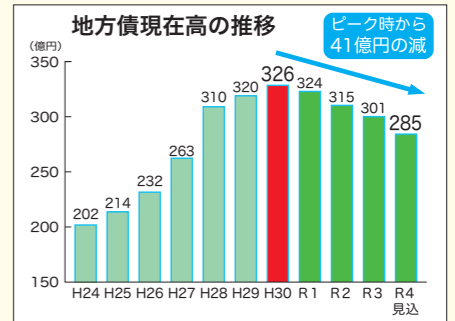
- 災害情報の発信力強化
- 災害・防災協定の締結
- 市民協働のまちづくりの推進
- 空家等対策計画の策定

- 計画的な道路整備と橋りょうの点検・修繕
- ヤード（自動車解体施設）などの土地利用の適正化
- 直行坂東号の利用促進
- 既存公共施設の有効活用

- U・Iターン（移住定住）促進支援事業 ◆新規
- マイナンバーカードの取得促進
- ふるさと応援寄附・企業版ふるさと納税の拡充

地方債現在高減少への取り組み

●事業の選択と集中を図り、徹底した歳出の見直しや適正化に努めています。令和2年度から市債発行額を抑制し、今年度の地方債（借金）現在高は、過去最大だった平成30年度の約326億円と比較して約41億円減る見込みです。引き続き、健全な財政運営に努めていきます。





新型コロナウイルス感染症政策



新型コロナウイルス感染症は、現在も市民のみなさんの生活に多くの影響を与えています。市民の生命と健康を守るため、感染拡大防止に努めながら安心した生活が送れるよう、日常生活の支援や市内経済の活性化を図っています。

円滑なワクチン接種の推進

- 新型コロナウイルスワクチン接種では、3回目は65歳以上、4回目は60歳以上の方に市独自の「おまかせ予約」を取り入れ、予約手続きの負担軽減を図りました。手続きを簡素化したことで、より多くの方に接種していただき、県内トップクラスの接種率となっています。
- 今後も接種を希望する人が、迅速かつ安心してワクチン接種ができるよう、計画的に取り組んでいきます。



市集団接種会場の様子

Wプレミアム商品券・地域応援商品券の実施

- 市民が市民を助ける施策として、プレミアム率100%の「Wプレミアム商品券事業」と「地域応援商品券事業」を3年連続で実施しています。
- 加盟する飲食店・小型店への支援として、換金時に金額の5%を上乗せしています。



木村さん家族

商品券インタビュー

地域も活性化するし、消費者にとっても嬉しいです。Wプレミアム商品券は半額で購入できるのでだいぶ大きいですよ。消費者とお店双方にとってプラスになるいい制度ですね。家族で買い物や外食に使いたいと思います。



「Wプレミアム商品券」
3千円で6千円分

「地域応援商品券」
1万円で1万円分

最初の緊急事態宣言時は、予約のキャンセルが多かったけれど、その分テイクアウトが増えました。

換金時に5%の上乗せは他にはないので、お客様に商品券を使っただけで本当に助かります。このピンチを逆にチャンスだと思って、今努力しています。



飲食店を営む宇佐見さん

原油価格・物価高騰への対応

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、原油価格や物価高騰に直面する事業者などに支援を行っています。
- 今後も状況を把握しながら、交付金を活用した政策に取り組んでいきます。

1	障害福祉サービス事業者物価高騰対応支援事業	約417万円	食材料費や光熱費などの物価高騰により影響を受けている障害福祉サービス事業者を支援
2	介護サービス事業者物価高騰対応支援事業	約1,156万円	食材料費や光熱費などの物価高騰により影響を受けている介護サービス事業者を支援
3	民間保育事業者等物価高騰対応支援事業	約440万円	食材料費や光熱費などの物価高騰により影響を受けている民間保育事業者等を支援
4	公立子ども園等物価高騰対応支援事業	約166万円	公立子ども園・幼稚園の給食の賄材料費高騰分にあて、保護者には負担増を求めず給食の質等を維持
5	学校給食物価高騰対応支援事業	約2,013万円	小中学校の給食の賄材料費高騰分にあて、保護者には負担増を求めず給食の質等を維持
6	入院施設物価高騰対応支援事業	約390万円	食材料費の物価高騰により事業運営に影響を受けている入院施設を持つ医療機関を支援
7	医療機関物価高騰対応支援事業	約600万円	光熱費などの物価高騰により影響を受けている医療機関を支援
8	交通・運送事業者物価高騰対応支援事業	約4,808万円	原油価格・物価高騰により事業運営に影響を受けている交通事業者・運送事業者を支援

こんな事業にも取り組んでいます！

- 感染症対策の徹底
- コロナ感染症罹患に伴う差別や偏見防止の啓発
- ワクチン接種会場への移動支援



SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは

2015年9月の国連サミットで採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた、2030年を年限とする17の国際目標です。



発行／茨城県坂東市 編集／市長公室 政策調査課
〒306-0692 茨城県坂東市岩井4365番地
☎0297(35)2121／0280(88)0111
ホームページアドレス <https://www.city.bando.lg.jp/>



坂東市ホームページ



坂東市LINE

情報配信中!
お友達登録してね!

